

平成23年6月1日

各 位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤 紳勝
(東証第一部:6788)

お問い合わせ先

経営企画部長 清水 崇文
(お問い合わせ先:06-6456-4600)

新製品の学会出展に関するお知らせ (血液透析用電解水一体型逆浸透精製水製造システム)

この度2011年6月17日(金)～19日(日)、パシフィコ横浜にて開催される、第56回(社)日本透析医学会学術集会・総会において、従来の逆浸透精製水製造システムに電解水システムを組み込んだ、「電解水一体型逆浸透精製水製造システム」を展示いたしますので、お知らせいたします。

当機器は、血液透析用逆浸透精製水製造システムメーカーとのコラボレーションにより実現した画期的な新システムとなります。

展示会では、同新機種のほか、電解透析水整水器HD-24D等も展示いたします。

現在、わが国の慢性透析患者は29万人を超え、なお年々増加しています。その大多数の患者の方々は、血液透析療法を受けていますが、動脈硬化の進展や易感染性などの問題は未だ解決されていません。その原因として高血圧、微小炎症状態、活性酸素の産生亢進といった慢性腎臓病に特異的な病態が関わっていることが指摘されてきました。しかし、それらに対する有効な治療法は限られており、新たな治療法の開発が切望されてきました。

当社は1995年より台湾大学医学部と電解水を血液透析用水に利用する臨床研究を開始し、国内では、東北大学大学院医学系研究科中山昌明創生応用医学研究センター先進統合腎臓科学コアセンター・副コアセンター長(現福島県立医科大学教授)、伊藤貞嘉教授(腎臓・高血圧・内分泌学分野、創生応用医学研究センター先進統合腎臓科学コアセンター長)との産学共同研究チームで研究を進めて参りました。この研究成果は、平成22年4月12日付、欧州腎臓・透析移植学会の学会誌(Nephrology Dialysis Transplantation)へ「A novel bioactive hemodialysis system using dissolved dihydrogen(H₂) produced by water electrolysis: A clinical trial(水の電気分解による溶存水素(H₂)を利用した新しい生理活性血液透析システム)」として論文発表され、メディアで取上げられるなど話題を呼びました。

電解透析水整水器は、昨年6月より試験販売を開始し、既に10病院で導入されておりますが、この度の新システムにより、病院のスペース、コストの負担を軽減することで、電解水透析の更なる普及を図ってまいります。

以上